

教科学習内容との関連を図った英語活動

小学校における外国語活動研究会議

研修員 轡田 亜子（川崎市立幸町小学校）

殿岡 富之（川崎市立小倉小学校）

松本 真爾（川崎市立夢見ヶ崎小学校）

立元 裕樹（川崎市立東小倉小学校）

研修指導主事 小池 優一

主題設定の理由

今年度からの学習指導要領では、「総合的な学習の時間」が導入され、さらに、小学校における「総合的な学習の時間」においては、国際理解に関する学習の一環として外国語や異文化に触れさせるなど、体験を通じた活動を行う機会を児童に与えることができるようになった。

川崎市総合教育センターの小学校における外国語研究会議では、平成14（2001）年度もネイティブ・スピーカーとの体験的な英語活動を実施し、活動を通して教員の指導力の向上を図ると同時に、英語活動で扱う内容や教材づくり、年間を通しての活動計画の作成等を進めてきた。

各活動を進める中で児童の変化を見つめた時、「不登校の児童が英語指導助手（以下ALT）の活動に関心をもち、その後、自力で登校するようになった。」「まったく学校生活の中で発言しなかった児童が、コミュニケーション活動に参加した。」などの内的な変化が少なからず観察された。

このような児童期には、新たな事象に関する興味・関心が強く、言語を始めとして、異文化に関しても自然に受け入れられる時期にあると考えられる。このような時期に英語に触れることや外国人講師と交流する機会を体験することは、積極的なコミュニケーションを図ろうとする態度や子どもの意欲を養う上できわめて有効な機会の一つであると考えられる。英語活動では、言語習得を主な目的とするのではなく、興味・関心や意欲の育成をねらいとすることが重要である。研究会議でも楽しさの中に英語に慣れ親しむことに重点を置き、あいさつや色、数などの子どもの日常生活での身近な内容を取り扱いながら、体系的指導や系統性については特に考えずに進めてきた。

活動を進める中で、「聞く」「話す」の活動から文字に興味を示す子どもたちや、扱う語句や内容と関連した他の語や表現などに関心を示し、尋ねたり、知りたがるなど、特に高学年の子どもたちに積極的な姿勢がみられた。

そこで、今年度は、昨年度までの取組を踏まえながらも、「各教科で学習する内容や教科書の内容との関連を図りながら」教科での学習と英語活動を実施する時期や扱う内容を関連させながら研究をすすめた。

第二として、各教科で使われている教材の一つとしての教科書の中には、様々なカタカナ語が使われている。特に現行の教科書の中には、英語表現そのものが使われているなど英語活動を意識しての編集と思われる箇所もある。既存の知識を活用させながら興味・関心のある語彙を提示して、無理なく英語活動に活気を与え、理解を助けるのではないかと考えた。

最後に、外国人講師とのチーム・ティーチングをする際の課題を解決するための一つのガイドラインを作成することが必要と考えた。平成14（2002）年度、川崎市内では現在約82%の小学校でALTとの英語活動を実施している。学校や教員のねらいに沿った英語活動が、ALTとのチーム・ティーチングを通して実現していくためにも、日本人教員とALTとの連携を図らなければならないと考える。準備から実施、活動の振り返りまでのガイドラインを作成したい。

研究の内容

本研究会議では、以下に示した4項目を重点に研究を進めた。

- 1 各教科の学習から英語活動と関連させることができる内容を選び出し、指導計画を作成する。
- 2 1の活動計画の中からいくつか活動を実施し、指導案を検討し、作成する。
- 3 上記に関連して、教科書中のカタカナ語、外来語から英語活動で扱えるものを選び出し、教材化する。また、チーム・ティーチングを行うまでのALTとのガイドラインを作成する。

1. 各教科との内容関連について

表1 第3学年英語活動可能な各教科の学習内容一覧

3学年	国語	社会	算数	理科	音楽	体育
4月		東西南北を知ろう(方位, 左右, 前後)				かけっこリレー(ハット, ハース, コース)
5月				チョウを育てよう(卵, 幼虫, 成虫)	レミの歌	マット(ハット, スプリング, ハンドスプリング)
6月	知っている場所を教えます		時間			
7月		まちの絵や図をつくろう(マークの名前, 道案内)				
9月		わたしの家の買い物(打っているものの名前)				
10月			長さ		パフ	身体の部分
11月	動物と暮す					
12月	道案内をしよう					
1月			重さ			
2月		店の人の工夫や努力(働く人, 仕事)			ハンセルとグレーテル	
3月		1000円でカレー作りにチャレンジ		磁石の秘密をみつけよう(つくつかないもの)		

2. 検証授業

3年生の国語科と社会科で学習した内容と関連させ検証授業を行った例を以下に上げる。
この活動は、6月に国語科、7月に社会科で行った学習内容を踏まえて実施した。

題 材 名：Guidance

題材目標：1 簡単な英語のあいさつや歌を通して、英語に親しむ

2 道の進み方の英語での言い方を知り、ゲームを通して道案内ができる

教科との関連：3年国語「知っている場所を教えます」「道案内をしよう」

3年社会「まちの絵や図を作ろう」

本 時

	学級担任の指導	ALTの支援	児童の学習活動
3	・目を合わせて、元気に挨拶できるようにする ALTとの挨拶	・児童と元気に挨拶する	・ALTとの挨拶をする Hello. How are you? I'm fine, thank you. And you?
3	・音楽をかけて一緒にリズムカルに歌いリードする		"Where's Thumbkin?" ・英語の歌を踊りながら元気に歌う
5	・ALTの質問内容を繰り返して、児童の理解を助ける	Open your book page 18 and 19 Where's a restaurant? ・質問を出し、見つけれない場合は、簡単な英語のヒントを出す	・WORD BOOKを使っての建物探しをする ・ALTの質問を聞いて、場所を探し当て答える Here it is.
15	・児童の目線で動きが分かるようにする ・カードを提示しながら、児と一緒に発音する ・実際に道を聞かれそうな建や児童に関わりのある建物名前を言う ・建物と進む方向を示す矢印のカードを示す	・建物や方向を示す語を発音し、示す ・ジェスチャーを加えて説明する	・道案内をするときに使う言葉や表現を知る ・道案内の様子をVTRで見ながら、言葉の使い方や動きを知る 建物 school, station, bank hospital, busstop library 方向 Go straight. Turn right Turn left. ・その場で足踏みをしながら、ALTの指示を聞いて右を向いたり、左をむいたりの動作をする

		・道案内用の大きな地図を提示して，ある場所から別の場所まで案内の仕方を示す	
15	ゲ ー ム	<ul style="list-style-type: none"> ・ A L T と H R T がモデルになり，モデルを示す ・ 児童の中に入り，道を尋ねたり，答えたりする ・ ジェスチャーを加えながら行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で道案内をする ・ 相手の目を見ながらジェチャーを加えながら行う
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>A: Excuse me, where is a school?</p> <p>B: Go straight and turn right.</p> <p>A: Thank you very much.</p> <p>B: You are welcome.</p> </div>	

		TREASURE HUNT GAME	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ はじめ H R T と A L T とで の隠し場所を道案内をして，児童に当てさせる ・ 数回行いゲームに慣れたところで開始する 	
4			<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で道案内をして，友だちは，その場所（建物）を見つける
		<ul style="list-style-type: none"> ・ お別れの挨拶をする <p>I hope you enjoy game. Thank you for today.</p> <p>Thank YOU for today.</p> <p>See you next time.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ お別れの挨拶をする <p>I hope you enjoy the game.</p> <p>Thank you for today.</p> <p>See you next time.</p>

3. 教科書で取り上げられたカタカナ語の実態

日常生活で使われているカタカナ語，外来語，外国語は数え切れないほど眼や耳に飛び込んでくる。テレビ番組中のナレーション 1 分間に出了たカタカナ語，英語使用頻度¹⁾を以下に示す。

表2 テレビ番組中のカタカナ語

カテゴリー	NHK		民放	
ニュース	3	ノウハウ，コンピュータシステム	4	ドレスアップ，アピール
スポーツニュース	8	スタート，ブランク，ベテラン	10	プレイ，ミリアムシリーズ
ドラマ	1	アパート，カメラ，デビュー	3	データ，イメージ，サンプル

1) P.21 キッズ・コム 1月号 アルク 2001年1月

アニメーション	2	リラックス, ウィンク	4	ラッキー, ターミナル
音楽, パラエティ	8	クリーム, タ, ホイト	13	ハブコング, ミスマッチ

ふだん何気なく通り過ぎるこれら言葉は、獲得した既存の知識ではないが、子どもの意識下に多くの言葉が映っていると考えられる。

また、市内で使われている教科書の中にも多くのカタカナ語、外来語が取り上げられており、時代や社会の変化や国際化を反映している。

平成14年度版教科書（算数科）にみるカタカナ語数（教育出版）

表3 検定教科書中（算数科）のカタカナ語

学 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計数	重複語数	実語数
語 数	38語	38語	71語	63語	210語	30語	180語

これらの中からいくつかのカタカナ英語を挙げてみる。パンダ、コアラ、ガム、チョコレート、ホテトチップ、ドーナツ、クッキー、ハンバーガー、チーズケーキ、ビスケット、スナック、ホットドッグ、ミニトマト、レモン、オレンジ、クリーム、エジプト、アメリカ、オーストラリア、スイス、カナダ、インド、アラビア、フランス、ドイツ、ベルギーなどである。英語と日本語での言い方の違いはあるものの、既に日常使われている外来語を英語活動に取り入れることにより、日本語との発音の違いに気がついたり、「この言葉も実は英語だったのだ。」と再認識し、英語活動で使われる語が増え、多様な活動を仕組むことが可能になる。

これらの語を指導の導入などで使うための絵カード（ピクチャーカード）を教材の一つとして計画した。川崎市のネットワーク内にオンラインする予定である。

4. 担任教員（HRT）とALTなどとの準備について

はじめてALTや外国人助手を迎えることになったとき、指導にあたってALTと事前に経過Kう概要を相談したり、朝指導に当たっての打ち合わせをしたりする必要がある。なお、前記事例は学級担任が計画し、実施するまでの参考資料の一つとして作成した。

研究のまとめ

1. 研究の成果

ALTとのチーム・ティーチング

ALTが小学校での英語活動に参加し、月1～2回の実践を重ねてきた。ALTも外国語に親しませるといった目的を理解し、各小学校のチーム・ティーチングの形態が少しずつではあるができてきた。また、この研究を通じて日本人教師とALTとの指導する前の話し合いが深まってきたことが挙げられる。

Tongue Twister（英語での早口言葉）について

あいさつやソング（歌）、チャンツ（リズム歌）などが一般的な英語活動の時間の導入である。ここでは、それらだけでなく英語での早口言葉を扱ってみてはと考えた。「楽しい」と感じる活動の一つであり、何回も挑戦して発音し、言っている内に英語らしい音やイントネーション、リズムに少しずつ慣れ、英語を使って遊べるようになってきた。

- ・ BrotherBobisabigboy. (何回か繰り返して言う)
- ・ Pat is peeling a pink peach.
- ・ Bubble, bubble, bubble. Boys are chewing their bubble gum. Bubble, bubble, bubble.
- ・ Peter Piper has a puppy, etc.

その他のTongue Twisterについても一覧にしてネットワーク上で提示したい。

2. 今後の課題

ティーム・ティーチングについて

外国人講師とのティーム・ティーチングでは、それぞれの役割、特に学級担任として何をするか、何ができるかを明らかにしていきたい。

教材作りについて

市販されている本の活動内容を実際に実践に移そうとしても、困難なこともおおいいため、本年度までの事例に加え、さらに「これなら私もできます英語活動事例」のような教材等を作成する必要がある。

最後になりましたが、本研究を進めるにあたり、適切なお指導・ご助言をいただきました先生方、研究をご支援していただいた研修員所属校の校長先生ならびに教職員の皆様に心からお礼を申し上げます。

【参考文献】

- | | | |
|--|-----------|-------|
| 伊藤嘉一他『小学校英語学習 レディーゴー』 | ぎょうせい | 2000年 |
| 『小学校英語活動実践の手引』 Handbook for Elementary School English Activities | 文部省 | 2000年 |
| 『英語指導方法改善の推進に関する懇談会 報告』 | 文部科学省 | 2001年 |
| 長江 宏, 太田美智彦『小学校教師の英語活動Q & A』 | 学校図書 | 2002年 |
| 『小学校学習指導要領解説』 総則編 | 文部省 | 1998年 |
| 「東京都文京区立誠之小学校第4年次研究開発実施報告書」 | | 2000年 |
| 「キッズ・コム Kids com」 | 1月号 アルク | 2001年 |
| 「NHK学校放送 エイゴリアン」 | 1学期 NHK出版 | 2002年 |
| 「NHK学校放送 エイゴリアン」 | 2学期 NHK出版 | 2002年 |

【指導・助言者】

- | | |
|-------------------|--------|
| 小学校英語教育学会事務局長 | 太田 美智彦 |
| (元東京都中学校英語教育研究会長) | |

【研究協力者】

- | | |
|--------------|--------|
| 成城学園初等学校講師 | 渡辺 麻美子 |
| 川崎市立百合丘小学校教諭 | 石川 奈緒美 |